

## 各セクションの報告・情報

## THE 現場

## たまり場ぱれっと

～3月・4月 無事開催!たまり場「はなれ」～

少人数のグループに分かれて開催する開放日「たまり場はなれ」もすっかり定着してきました。今年1月、そして2月の企画は「まん延防止等重点措置」の実施を受けて延期となりましたが、去る3月20日、そして4月17日には無事に開催することができました。当日の様子を報告します。

## ●皆で厄除け祈願—3月20日・川崎大師

3月20日の「たまり場はなれ」は、別々の場所で待ち合わせて、同じ場所に向かうという企画にしました。行き先は「川崎大師」。厄除け祈願で有名なところです。同じ場所に、と言っても、班行動は全く別。コースや時間差を考えながら、接触の無いように気を付け、会話控えめ、飲食も自粛。楽しさ半減・・・かと思いきや、そこはやはり久しぶりの「はなれ」。マスク越しでもわかる笑顔がたくさん集まり、「やっぱりたまり場は良いと思いました!」(参加者談)。一日も早く、マスクを外して思いきりたまり場を楽しめる日が戻ることを願って、皆の想いをひとつに川崎大師で祈願してきました。

【川崎大師にて】



## ●4月は春を求めて外出

4月17日は、代々木公園で開催されたアースデイというイベントを訪れるチームと、渋谷の東急文化村で開催されていた「DIVERSITY IN THE ARTS」という障がい者アートの展示会の鑑賞と、2020年にリニューアルされた「宮下パーク」を訪れるチームに分かれ、それぞれ春の一日を楽しみました。



【障がい者アート展示会】

## ●楽しい暮らしを考える会

3月、4月とも室内プログラムは「楽しい暮らしを考える会」でした。外出イベントでは、移動があるのでなかなかゆっくり話す時間が取れませんが、この企画では、じっくり落ち着いて「今どんな暮らしをしているのか?」「将来どんな暮らしがしたいのか?」「お金のくらかいかかる?」「生活の不安は?」など、障がいのある無しに関わらず、皆が自分のことを話しています。初めて参加したボランティアからは、「話せるか不安でしたが、皆フレンドリーで安心しました」との声も。次回は6月19日開催予定です。

(みなみやま)

## おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと

すてき めのじ じゅんかん  
～素敵な布地の循環～

去る3月のある日、工房ぱれっとに大きなダンボールが3つ運び込まれました。中にはうっとりするような鮮やかな色彩と光沢を持つ布地の数々が！恵比寿に本社を置く(株)シュガーマトリックスさんのアパレルブランド「STRAWBERRY-FIELDS」から、洋服を作った時に出る余り布をご寄付いただいたのです。さっそくこの中からレース生地を選び仕上げた「らぶらび」は、何だかお姉さんらしく澄ました表情に見えます。不要になったものを地域の中で循環する…お互いにとって良い取り組みとなりました。

お繋ぎいただいた(株)渋谷サービス公社さんにも感謝を申し上げます。(たまい)



## ぱれっとホーム

～誕生日会～

えびす・ぱれっとホームでは加古 櫻さんの誕生日会を行ないました。現在コロナ禍ということもあり、ホームでは食事の時間が分かれています。去年のクリスマス以来久しぶりに全員揃っての食事会になりました。

皆でハッピーバースデーを歌ってお祝いし、美味しい料理を食べました。櫻さんからは「今年も頑張る！」と抱負も聞くことができました。笑顔が沢山見られた素敵な誕生日会になりました。(かとり)



## ぱれっとの家 いこっと

～再契約～

ぱれっとの家 いこっとは、現在7名の入居者が暮らしています。このうち、4月に1名が他のシェアハウスへ引っ越しましたが、残り6名のうち5名は半年～1年の再契約を結んでいただきました。「更新」ではなく「再契約」と呼ぶのは、シェアハウス独特の契約の形で「定期借家契約」というものだからです。期限が来ると契約を一旦終了し、特に問題が無ければさらに再契約を結びましょうという、共同生活ならではの形と言っても良いものです。契約時に個別に少しお話をし、近況や生活の困りごとなどを伺いました。こういったコミュニケーションの時間も大切です。(みなみやま)